

仙台沿岸エリア

仙台市／松島町／利府町／塩竈市／七ヶ浜町／多賀城市／名取市／岩沼市／亶理町／山元町



仙台沿岸エリアは松島町以南の沿岸地域で、仙台市、松島町、利府町、塩竈市、七ヶ浜町、多賀城市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町からなる5市5町です。太平洋と仙台平野に挟まれたこの地域は、比較的温暖かつ穏やかな気候が特徴で、都市部からのアクセスも良好です。

令和5年5月には、津波の被害を受けた名取市北釜地区に初めての企業進出が決まり、安全祈願祭が行われました。研修センターを建設中で令和7年4月の供用開始予定です。

7月には、亶理町に鳥の海公園スケートボードパークがオープンし、連日多くのスケーターらで賑わっており、地域の交流人口増加が期待されています。

12月には、都市防災総合推進事業による防災拠点施設として改修された、七ヶ浜町の生涯学習センターの前の広場に、「3×3」コートがオープンし、連日多くの若者でにぎわっています。

仙台沿岸エリア

被害状況		地域合計	県内合計
死者	3,397人	10,571人	
行方不明者	89人	1,215人	
全壊	41,546棟	83,005棟	
半壊	124,923棟	155,131棟	

令和5年9月30日現在

応急仮設住宅入居者数		平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	14,382人	0人	
民間賃貸借上住宅	37,861人	5人	
計	52,243人	5人	

災害公営住宅整備状況		平成31年3月末
計画戸数	6,222戸	
完了戸数	6,222戸	



「3×3」コート



東北・みやぎ復興マラソン2024の開催



仙台沿岸エリアの定点観測

仙台市若林区荒浜地区

県南沿岸部を南北に貫く県道塩釜亶理線を6メートルかさ上げした東部復興道路が令和元年11月に全線開通したほか、防災集団移転跡地の利活用が進み、「JRフルーツパーク仙台あらはま」など様々な事業が展開されています。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から14年後

塩竈市海岸通地区

塩竈市の中心であるJR本塩釜駅周辺も津波で浸水しましたが、国道45号のかさ上げとともに、密集市街地の環境改善のため、地区周辺一帯で複合的な市街地再開発が進められました。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から14年後

名取市・岩沼市

沿岸部に位置する仙台空港は、津波により機能が一時完全に停止するなど大きな被害を受けましたが、半年後には旅客ターミナルビルの完全復旧と国際定期便の運航再開を果たしました。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から14年後

亶理町荒浜地区

亶理町荒浜地区には、直売所や商店街のほか鳥の海公園に運動場が整備され、子どもから大人まで幅広い世代が様々なスポーツで汗を流しています。



被災直後

写真提供：3.11 オモイデアーカイブ



被災から14年後